

パチンコ・パチスロ依存問題の知識が動画で楽しく学べる

パチンコホールスタッフ向けeラーニング

パチンコ・パチスロ 依存問題基礎講座

知識や職責に応じた

全スタッフ向け

講座カリキュラム

講座内容は

動画で分かりやすく

解説

スマホ、タブレット

PCで24時間

いつでも受講可能

全てのホールスタッフが依存問題について学ぶことができるこの取り組みは
専門家からの評価も非常に高い、ギャンブル等依存問題対策です。

2022年3月まで

全て無料でご利用いただけます。

たくさんの従業員の方々にLV.1・LV.2を受講してもらいたいという想いから、
可能な限り無償で提供できるように努力しています。

LV.1 講座は、2022年4月以降も無償で提供を続ける予定です。

ご利用のお申し込みは
パチンコ・パチスロ依存問題
基礎講座HP申込フォームから

パチンコ・パチスロ依存問題基礎講座

検索

<https://learning.rsndesign.jp/>



各法人のご担当者様よりお申し込みください。



認定特定非営利活動法人 ぱちんこ依存問題相談機関

リカバリーサポート・ネットワーク

パチンコ・パチスロ依存問題基礎講座 講座内容

LV.1

パチンコ業界で取り組んでいる依存問題対策や
パチンコ・パチスロ店のルールなどを紹介しています。

所要時間	約13分	推奨受講対象	業界未経験の新人を含む全スタッフ
------	------	--------	------------------

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・パチンコ・パチスロという娯楽・「遊技」と「賭博」の違い・パチンコ・パチスロの依存問題・パチンコ・パチスロ依存問題と法律・ギャンブル等依存問題の対策について | <ul style="list-style-type: none">・リカバリーサポート・ネットワーク・安心パチンコ・パチスロアドバイザー制度・自己申告・家族申告プログラム・パチンコ・パチスロ依存問題に早く気付くために・確認テスト |
|--|---|

LV.2

パチンコ・パチスロの依存問題と対策について、
全てのスタッフに知っておいて欲しい内容を解説しています。

所要時間	約30分	推奨受講対象	LV.1の内容を把握している全スタッフ
------	------	--------	---------------------

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・パチンコ・パチスロの良いところ・パチンコ・パチスロの悪いところ・ギャンブル等依存症対策基本法・ギャンブル等依存症対策推進基本計画・リカバリーサポート・ネットワークの電話相談・安心パチンコ・パチスロアドバイザーの役割・自己申告・家族申告プログラムの運用 | <ul style="list-style-type: none">・パチンコ・パチスロ依存問題の
予防啓発情報サイト・自己診断チェック・健全化推進機構・依存と依存問題・電話相談の事例紹介 & 解説・確認テスト |
|--|--|

LV.3

パチンコ・パチスロの依存問題と対策について、
実際のお客様対応に必要な知識やスキルを解説しています。

所要時間	約30分	推奨受講対象	依存問題担当者（1店舗4名以上）
------	------	--------	------------------

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ギャンブル等依存問題とは何か？・ギャンブル等依存症対策基本法について・事業者が取り組むギャンブル等依存問題の対策・利用可能なセーフティネット・安心パチンコ・パチスロアドバイザーに
求められること | <ul style="list-style-type: none">・（主に）初心者に対する適度な遊技方法の紹介・相談を受けた際の適切な対応・自己申告・家族申告プログラム
申込時の対応と課題・電話相談の事例紹介 & 解説・確認テスト |
|--|--|

※講座内容は追加を予定しています。依存問題責任者向け上位講座、各種事例紹介を準備中です。

※講座内容の修正は、変化に合わせて随時行う予定です。



認定特定非営利活動法人 ぱちんこ依存問題相談機関

リカバリーサポート・ネットワーク

依存問題対策における 従業員教育の重要性

事業者が積極的に取り組むべき依存問題対策は、 予防に重点を置いた対策

- ◆ 日本のギャンブル等依存症対策基本法では、予防等（発症、進行及び再発の防止）に配慮するよう努めなければならない。と明記。
- ◆ 事業者が取り組む予防に重点を置いた依存問題対策は、有効性が証明されている。
- ◆ 顧客保護、社会への負の影響軽減対策は、CSR（企業の社会的責任）、ESG（社会的課題への取り組み）の一部であり、問題発生の予防に重点を置いた対策を実施することは、世界的に標準化されつつある。

予防に重点を置いた依存問題対策は、参加者のライフタイムバリュー（顧客生涯価値）の最大化に寄与するとともに、社会と調和がとれた産業として持続継続可能な発展には不可欠なものとなっています。

依存問題対策の強化が求められる

- ◆ 2022年にかけてIRの候補地選定が行われ、あらためて依存問題が注目される。
- ◆ 2022年4月に推進基本計画の見直しがあり、さらなる対策が求められる。

行政から規制されるのではなく、世界水準の合理的で有意義な取り組みを自主的に推進することで、事業者（業界）だけでなく社会全体にとって最適な依存問題対策の実現に近づきます。

従業員教育は、予防に重点を置いた対策の重要な柱

- ◆ ホールで働く全スタッフに、依存問題の正しい知識を普及。
- ◆ 業界が取り組んでいる依存問題対策の実効性向上。
- ◆ アドバイザー講習のフォローアップを強化。

お客様を様々なリスクから守り、それぞれのお客様に合った遊び方で楽しんでいただくためには、最前線でお客様と接する従業員の役割が非常に大きくなります。お客様への情報提供とそれを実現するための従業員教育が、世界のリスク対策の重要な柱になっています。

